

2019年11月1日

医療機器「アダカラム®」

11月1日より関節症性乾癬の保険適用

株式会社 JIMRO(本社:群馬県高崎市、代表取締役社長 長木敏二)が製造販売する医療機器「アダカラム®」が 2019年6月10日付で関節症性乾癬(かんせつしょうせいかんせん)*に対して効能追加が承認され同年11月1日より保険適用となりました。

「アダカラム」は、血液を一旦外に連続的に取り出し、末梢血の白血球のうち顆粒球および単球を選択的に吸着し、その後血液を体内に戻す体外循環療法に使用する白血球除去カラムで、2000年4月より活動期潰瘍性大腸炎に対して、2009年1月からはクローン病に対しても寛解導入療法の治療選択肢として、また、皮膚領域では2012年10月に膿疱性乾癬の症状改善のための治療選択肢として保険適用されています。この度、生物学的製剤などの既存の薬物療法が無効又は適用できない関節症性乾癬の臨床症状改善に対して保険適用されました。

関節症性乾癬の治療は、皮膚症状のみならず進行性の関節炎による関節の変形や関節破壊の抑制のため、早期に生物学的製剤を使用することが推奨されています。本邦では8製剤の生物学的製剤の使用が可能となっていますが、生物学的製剤に奏功しない、あるいは使用継続につれ効果が減弱する、さらにこれらの治療法には合併症や安全性上の懸念から適用できないといった問題があります。「アダカラム」は、このような問題を解決し患者さんのQOL向上につながる新たな治療選択肢の一つとして寄与できるものと考えています。

株式会社 JIMRO は、大塚ホールディングス株式会社傘下において、医療機器事業を統括する大塚メディカルデバイス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:東條紀子)の中核的な事業会社として、今後とも独創的な製品の研究・開発、販売を行い、'JIMRO-people creating innovative products and delivering professional services for better health worldwide'の企業理念のもと、より多くの難病治療に貢献できますよう努力してまいります。

*関節症性乾癬について：乾癬の局面型皮疹に慢性進行型の炎症性関節炎を伴う疾患であり、末梢関節炎、脊椎炎、仙腸関節炎、付着部炎、指趾炎など多彩な臨床像を呈します。本邦では、乾癬患者全体のうち 1.9%が関節症性乾癬として保険請求されています¹⁾。なお、関節症性乾癬という名称について、日本皮膚科学会、日本リウマチ学会および日本整形外科学会が合意し、乾癬性関節炎と呼称することが決められました。ただし、生物学的製剤を含め、適応症の疾患名としては全て関節症性乾癬が用いられてきた経緯があることから、当面は「乾癬性関節炎(関節症性乾癬)」のように両者を併記するとされています。

1): Kubota K, et al. Epidemiology of psoriasis and palmoplantar pustulosis: a nationwide study using the Japanese national claims database. BMJ Open 2015. ;5:e006450.

製品概要

製品名	：	アダカラム [®]
一般的名称	：	血球細胞除去用浄化器
効能・効果	：	本品は、複数の生物学的製剤等の既存の全身治療が無効、効果不十分又は適用できない関節症性乾癬の臨床症状の改善に使用する
製造販売業者	：	株式会社 JIMRO

保険適用内容

材料価格	：	¥125,000/本(049 白血球吸着用材料)
処置料	：	2000点(J041-2 血球成分除去療法)ただし1日につき

会社概要

株式会社 JIMRO (JIMRO Co.,Ltd.)

設立	：	1977年11月8日
資本金	：	1億円
代表者	：	代表取締役社長 長木 敏二 (ながき としじ)
本社所在地	：	〒370-0021 群馬県高崎市西横手町 351-1
従業員数	：	171名 (2019年11月1日現在)
事業内容	：	医療機器の製造、販売、賃貸 輸出並びに輸入及び研究開発